

みなみかぜ 南風通信

牧之原市立川崎小学校
コミュニティ・スクール

Vol.25 2024.1.9

発行責任者：村上 CSD

ミシンボランティアの皆さんが大勢集まってくれました

5年生が家庭科の授業でクッションを作りました。「ミシンボランティア」を募ったところ大勢の皆さんが集まってくれました。子供たちは、アイロンがけ、ボタン付け、ミシンの操作などを教えてもらい地域の先生たちと友達同士のように和んでいました。そ

して全員がマイクッションを作ることが出来ました。いろいろな関係方面の方がボランティアにも関わっていただいて感謝しています。これを機会に川小応援隊の裾野が広がってくれるとありがたいです。

(全 12 時間)



◆図書ボランティアさんご紹介

12月に図書ボランティアを募集したところ数名の方の応募がありました。12月13日から本杉好子さん（藤沢）と川村玲子さん（3丁目）が活動してくれています。なかなか先の見えない根気のいる作業です。子供たちの本の貸し出し返却についての意識向上につながると思います。



◆近くにあった「無形民俗文化財」

4年生が地域に伝わるお祭りについて、その歴史や由来や価値について学びました。相良資料館の長谷川倫和さんから「鹿島神社」「飯津佐和乃神社」「大江八幡宮」に伝わる御船神事や「蛭ヶ谷の田遊び」について分かりやすく楽しく教えていただきました。牧之原市には無形民俗文化財がいっぱい（6つ）あること、文化財に指定されるには、「珍しい」だけでなく長い間継承されてきたことに価値があることなどを学びました。特に「蛭ヶ谷の田遊び」は、夜通しの祭りなのに鎌倉時代から750年以上の歴史があると聞いて子供たちはビックリしていました。

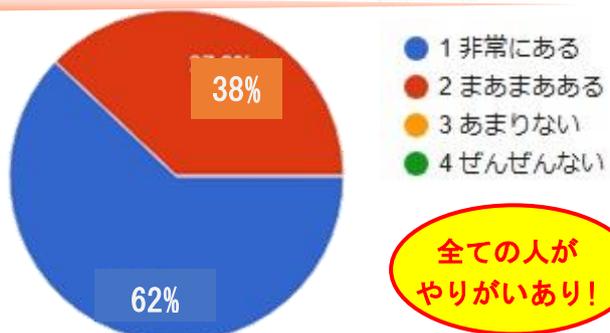


1. どんな活動に携わっていただけましたか。(複数回答可)

回答 29 名



2. 活動へのやりがいはどうですか。



3. どんな時やりがいを感じましたか。

- 校内が前よりきれいになった状態を見たとき。
- 人とのコミュニケーション 体を動かす事がいいかな?
- 子供たちが喜んでくれたとき。
- 駐車場係りがスムーズにいて父兄にお礼を言われたとき。
- 子供達と一緒に作業できる時。

- 子供が私のアドバイスを受け入れ、上手くミシンで縫えてうれしそうな顔をした時。
- 子供達と一緒に活動することで、特に 1 年生の下校支援は不安でいっぱいな 1 年生を安全面でも支えることができたと思う。自分がまだ地域で必要とされていることを実感でき、自分の生きる励みになった。また、未来を担う子供達の為に何かしら力になりたいと思う気持ちを満たすことができる。
- 直接子供達と触れ合ったり目に見えて花壇がきれいになると良かった!! と充実感が得られる。
- ミシンでの製作で、苦労しながらも全員が完成できた時。
子供まつりで、市内の親子と交流できた時。
- 子供たちと一緒に活動する中で、子供の笑顔が直接見られることと、地域の大人の存在を身近に感じてもらえること。
- 子供達と植えた花苗が咲き、花壇を見た方にとっても綺麗にさいたね、と言われたとき。
授業の応援で、子供達に声をかけられ、お手伝いが出来て喜ばれたとき。 ※回答の一部をご紹介



4. 川小応援隊の活動に要望、感想等があれば教えてください。

- ボランティアの皆さんや先生方と交流の場があればいいと思います。
- ミシン、図書ボランティアがあるということを知ったので参加してみたいと思います。
- なかなか都合が合わず参加できず申し訳ないです。できれば協力したいとは思っているのでヨロシクお願いします。もし可能なら体育とか子供とふれあえる事柄に参加したいです。
- 新しい人を入れていきたい。声掛けしないといけないと思う。
- まだまだやれることがあると思うので、学校と話し合いが必要だと思う。応援隊が入ったことで学校・先生方がやりにくい面があったかを知りたい。応援隊が入ったとき先生方や学校の要望や困り事を知り、応援隊も反省点を共通理解した方が良くと思います。
- 皆さんに協力して頂いて沢山の活動をされていて凄いなあ～と思っています。 ※回答の一部をご紹介

アンケート結果は今後のCS活動に活かしていきます